

授業科目 レクリエーション実技Ⅰ

【担当教員名】 中島孝子	対象学年	2	対象学科	スポーツ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 いわゆる生涯スポーツの領域におけるスポーツ指導者をめざす上で不可欠な、レクリエーション実技指導やグループ・ワークの基本的な技法を身につけることを目標とする。とりわけソフトで誰もが楽しめるゲームやレクダンス、スポーツなどの実践を通して、レクリエーション指導者として自立可能な実技指導の能力を身につけることを目標とする。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 1、ホスピタリティー・マインドを発揮できるようになる
 2、交流を深めるためのアイスブレイキングの技法について自分なりに実践できるようにする
 3、ゲームの展開に関して、基本的な「導入」「展開」「整理」の3段階を踏まえた基礎的な指導ができるようになる
 4、プログラムの展開に関して、基本的な「導入」「展開」「整理」の3段階を踏まえた実践ができるようになる
 5、指導の得意な種目や活動をいくつか意識できるようになる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ホスピタル・トレーニング（1）～共感のアクションへの気づき		講義と演習及び発表
2	ホスピタル・トレーニング（2）～基本的な人との関わり方について		同上
3	アイスブレイキングのプログラム体験（1）～導入段階・交流段階などでのプログラム体験		同上
4	アイスブレイキングのプログラム体験（2）～相互の役割変換によるリピート授業		同上
5	ゲームの中の起承転結（1）～アクティビティの展開方法		同上
6	ゲームの中の起承転結（2）～相互の役割変換によるリピート授業		同上
7	プログラムの展開法実践（1）～対象に合わせたアレンジ法		同上
8	プログラムの展開法実践（2）～盛り上がりのある行事プログラムづくり、実施の準備		同上
9	プログラムの展開法実践（3）～行事のグループ実践、プログラム評価		同上
10	対象を想定したレク支援体験（1）～指導案に基づく相互演習1		同上
11	対象を想定したレク支援体験（2）～指導案に基づく相互演習2		同上
12	対象を想定したレク支援体験（3）～指導案に基づく相互演習3		同上
13	対象を想定したレク支援体験（4）～指導案に基づく相互演習4		同上
14	対象を想定したレク支援体験（5）～指導案に基づく相互演習5		同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「レクリエーション支援の基礎」日レク協会編			
参考書	なし			
その他の資料	適宜プリント配付			

【評価方法】 レク指導技術の優劣だけでなく、授業に向かう態度・意欲・及び出席状況などを基に総合的に判断して評価する。	【履修上の留意点】 自分を変えたい人・他者と上手にコミュニケーション取れるようになりたい人・将来、この資格を生かしたい人大歓迎。何より授業への積極的な参加を望みます。
---	--